

第5次鎌倉市子ども読書活動推進計画 アクションプラン

取組項目	担当(担い手)
------	---------

1 豊かな読書環境の整備

1(1)子どもに関わる全ての施設において、子どもにとって魅力ある蔵書を構築

1 市図書館の蔵書内容の充実。子ども向け地域資料の充実	中央図書館
2 学校図書館の収集方針や選定方針を学校内で共有し、蔵書内容を充実させる	学校教育課、小学校、中学校
3 子どもに関わる施設の蔵書の充実	中央図書館、子どもに関わる施設
4 子どもにとって魅力のある蔵書構築についての学びの場を創出	中央図書館、子どもに関わる施設

1(2)子どもと本や情報をつなぐ人を適正に配置

1 図書館司書・学校司書・司書教諭の専門性の向上と継承	中央図書館、学校教育課、小学校、中学校
2 おはなしボランティア養成講座や、ステップアップ講座を開催し、ボランティアのスキルアップの場を設ける	中央図書館
3 「子どもほんしえるじゅ」キャラクター「かますけ」を活用し、フロアワークやレファレンスを行い、尋ねやすい雰囲気づくりと、かまくら読書活動支援センターの存在をアピールする	中央図書館



1(3)乳幼児期から本に親しむ機会を提供(ブックスタートやおはなし会など)

1 対象年齢にあわせた特性の研究	中央図書館
2 関連課と連携して、ブックスタート事業の実施	中央図書館、子どもみらい課、子ども家庭相談課
3 こどもの年齢別おはなし会(定例)の実施	中央図書館
4 こどもの対象年齢に応じた、読書や図書館に親しむ特別な行事の実施	中央図書館
5 ヤングアダルト対象の行事の実施	中央図書館
6 各施設による読み聞かせなどの実施	子どもに関わる施設
7 多世代交流ができる場の提供	中央図書館、子どもに関わる施設

取組項目	担当(担い手)
------	---------

1(4)こどもの読書にかかわる情報の収集と発信

1	かまくら読書活動推進センターでこどもの読書に関わる情報を収集し、互いに蔵書内容・イベント・事業などの参考にする	中央図書館、こどもに関わる施設
2	図書館のサービス内容をもっとアピールする工夫	中央図書館
3	「どくしょのノート」(読んだ本を記入していく冊子)のホームページ掲載・配付	中央図書館
4	おすすめの本のリストの配付	中央図書館

1(5)こどもと本や情報をつなぐ人と連携して、豊かな読書環境の整備を行う

1	「鎌倉市子ども読書活動推進計画に関する連絡会議」の委員を通して、こどもに関わる施設との連携を深める	中央図書館
---	---	-------

2 読書バリアフリーの推進

2(1)誰もが本を読めるようにする読書バリアフリーを広く知するための取組を実施

1	読書バリアフリーの考え方を広く知り、広く伝えるための取組を実施	中央図書館
2	バリアフリーおはなし会(手話付きおはなし会、世界のおはなし会など)を継続して開催する	中央図書館
3	「バリアフリー図書パック」を作成し、学校等へ貸出する	中央図書館、学校教育課、小学校、中学校
4	バリアフリー資料を活用した展示や行事の実施	中央図書館、小学校、中学校
5	図書館を利用しづらいこどもたちや、こどもたちが関わる施設へのニーズ調査	中央図書館
6	入院中のこどもたちを含む医療ケア児等へのサービスの研究	中央図書館

2(2)海外にルーツのある子どもたちへサービスを提供

1	多言語絵本の充実	中央図書館
2	ブックスタートでの多言語絵本の配付	中央図書館、こどもみらい課、こども家庭相談課
3	支援団体と連携し、ニーズの把握に務め、サービスを検討	中央図書館

取組項目	担当(担い手)
------	---------

2(3)読書バリアフリー資料の充実、電子書籍の導入を検討

1 読書バリアフリー資料の充実	中央図書館
2 電子書籍の導入を検討	中央図書館

3 情報活用スキルの向上とメディアリテラシーの醸成

3(1)こどもたち自身が紙とデジタル資料を使って、学習ができるようサポート

1 学校図書館の活用、カリキュラムの研究・実践により、情報を活用するスキルの向上を目指す	中央図書館、学校教育課、小学校、中学校
2 メディアリテラシーの醸成を目指し、様々な媒体の使い方や、利用方法を伝える	中央図書館、学校教育課、小学校、中学校

3(2)こどもの居場所となる施設のWi-Fi環境を整備

1 こどもの情報を知る権利を格差なく保証するために、Wi-Fi環境の整備をおこなっていく	中央図書館、こどもに関わる施設
--	-----------------

3(3)こどもに関わる大人を対象とした情報活用学習のための研修を実施

1 メディアリテラシー研修など、情報活用学習のための研修を実施する	中央図書館、学校教育課、小学校、中学校
-----------------------------------	---------------------

4 こどもに関わる施設や団体と連携した読書活動支援

4(1)ビブリオバトルなど中高生が読書に関する情報を自ら発信する場づくりを実施

1 こどもたちが、ビブリオバトルや、職場体験などを通して、自ら発信できる場の充実を図る	中央図書館、中学校、高等学校
---	----------------

4(2)より利用しやすい学校図書館を整備(開館時間の拡大や展示の工夫など)

1 学校図書館で、こどもが本を手に取りやすいように本のフェイスアウト等見せ方を工夫し、本や図書館に興味をもてるようにする	小学校、中学校
2 学校図書館を放課後にも利用できるように開館時間を検討する	学校教育課、小学校、中学校

4(3)こどもに関わる施設や団体との交流を通して、読書環境を充実

1 「本の海サポーターズ交流会」など、おはなしボランティアや保護者・保護者の団体との情報交換の場を設ける	中央図書館
2 乳幼児のニーズの把握につとめ、こどもたちへの図書館利用を促す取り組みを行う	中央図書館、幼稚園、保育園、認定こども園、子育て支援センター

取組項目		担当(担い手)
3	市図書館が学校(小中高)図書館への訪問を通し、情報交換や交流をはかる	中央図書館、小学校、中学校、高等学校
4	市図書館と放課後かまくらっ子や、フリースクールなどの施設との連携	中央図書館、青少年課、放課後かまくらっ子、こどもに関わる施設
5	本の選書のサポートを兼ねた学校貸出(搬送先は学校以外の施設も含む)の継続実施	中央図書館、学校教育課、小学校、中学校、こどもに関わる施設
6	図書館見学・職場体験などを通して、こどもたちが図書館に親しむ機会を提供	中央図書館、小学校、中学校、こどもに関わる施設
7	地域の宝物を生かし、鎌倉を楽しむ取組を実施。地元著者・出版社・書店との連携もすすめる。	中央図書館

4(4) 図書館を利用しづらい子どもたちのニーズに合わせたサービス検討(出張おはなし会や図書館見学など)

1	特別支援学校や障害児施設へサービスを検討し、訪問サービス(出張おはなし会)や図書館見学を実施	中央図書館、こどもに関わる施設
---	--	-----------------

5 こどもの居場所としての図書館の整備・サービスの検討

5(1) ゾーニング(図書館内の動線や区分けなどレイアウトの工夫)についての研修を実施

1	ゾーニング(図書館内の動線の区分けなどレイアウトの工夫)についての研修を実施	中央図書館
2	利用しやすい図書館、にぎやかな図書館について検討する	中央図書館

5(2) こどもの居場所の在り方の検討

1	こどもたちの居場所としてこどもたちが何の目的もなく来館し、自由に本を選び、くつろげる空間とサービスを継続して提供するとともに、さらなる充実を検討する	中央図書館
---	--	-------

5(3) こどもたちのニーズの反映

1	こどもたちが主体的に図書館に関われるための受け皿を研究し、ニーズの反映につなげる	中央図書館
---	--	-------

※担当(担い手)に、「こどもに関わる施設」と記載のあるものは、施設を統括する保育・幼稚園課、学校教育課、青少年課、こどもみらい課、発達支援室等を含む。

※担当(担い手)に、「中央図書館」とあるものは、鎌倉市図書館5館(中央図書館、腰越図書館、深沢図書館、大船図書館、玉縄図書館)で行うものとする。